

元内閣官房副長官補 安保法廃止求める

福岡市で講演

元内閣官房副長官補の柳沢協二さんが26日、福岡市早良区の西南学院大で講演し、写真、19日に成立した安全保障関連法について「他国の軍隊と同じように振る舞えるようになり、戦



死者が出るリスクが高まった」と批判。廃止を求めた。

小泉純一郎政権下の首相官邸スタッフとして自衛隊のイラク派遣に携わった柳沢さんは「米国の要請でもこれまでは憲法9条を理由にできないことは断ってきた。今後は断れなくなる」と指摘。「経済で大きく依存する米中が戦争を起こすことは考えにくい」との見方を示した。来夏の参院選で野党が多数を占め「ねじれ国会」となれば、安保法廃止の可能性もあるとした

上で「野党は頼りないがシングルイシューで戦うことはできる」と話した。

安保政策研究や米ワシントンでロビー活動に取り組んでいる民間シンクタンク「新外交イニシアティブ」(東京)が企画した。

'15/09/26 西日本新聞